

2022年3月期第3四半期 決算説明会



2022年1月28日
株式会社トプコン
取締役兼常務執行役員
CFO 財務本部長
秋山 治彦



会社紹介
ビデオ

2022年3月期第3四半期 決算説明会

I. 2022年3月期第3四半期 決算報告

II. 2022年3月期 通期見通し

III. まとめ

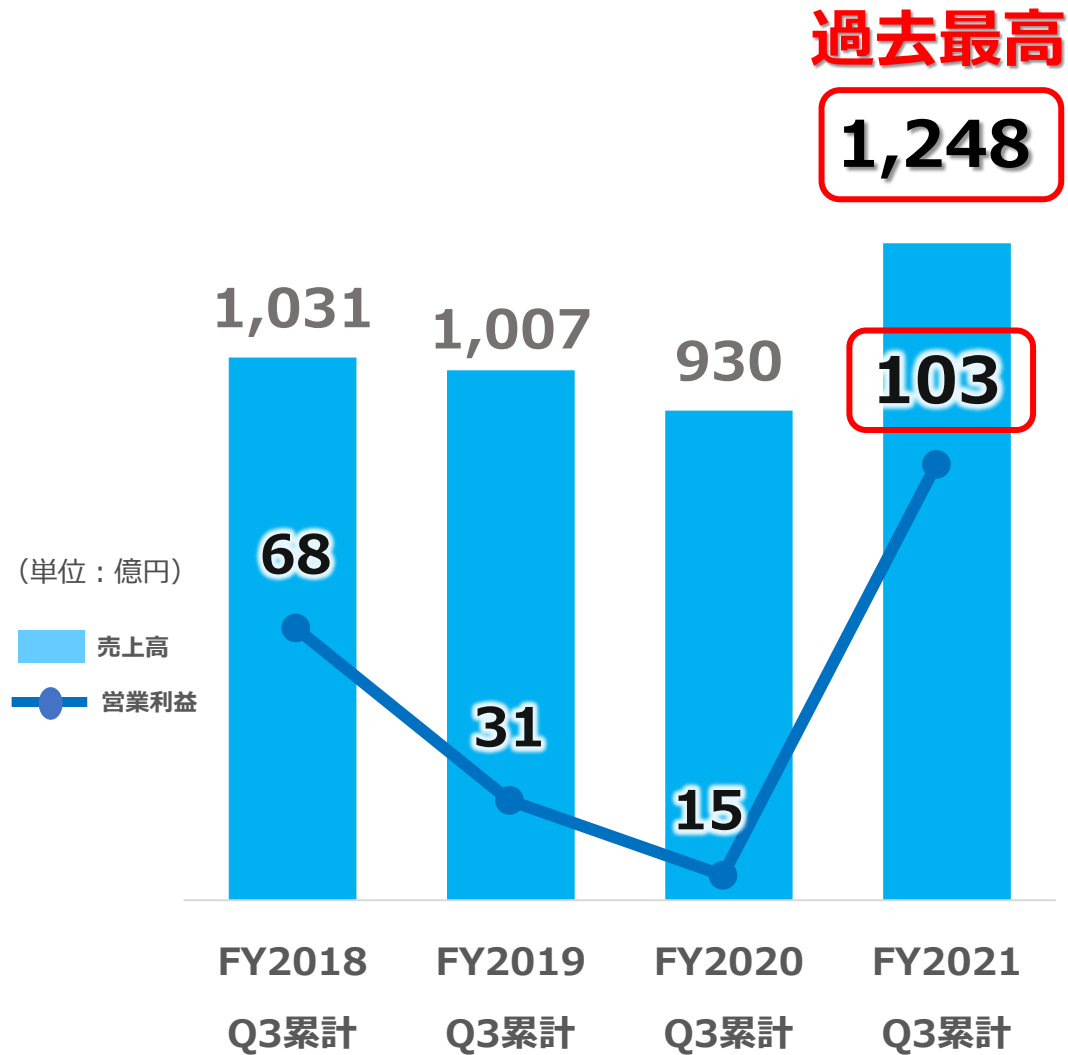
IV. 参考資料

I . 2022年3月期第3四半期 決算報告

I-1. 2022年3月期第3四半期 決算報告

I-2. 事業別の状況

FY2021 Q3累計決算概要



大幅増収増益

売上・利益とも過去最高を更新

	対FY2020	対FY2019
売上	134%	124%
営業利益	711%	338%

FY2021 Q3累計実績

■ 売上・利益 過去最高

(単位：百万円)

	Q3累計			
	FY2020	FY2021	前年同期比	前年同期比%
売上高	92,991	124,834	31,842	+34%
売上総利益	45,676	63,959	18,282	+40%
(売上総利益率)	(49.1%)	(51.2%)		
販管費	44,221	53,611	9,390	
営業利益	1,455	10,347	8,891	+611%
(営業利益率)	(1.6%)	(8.3%)		
営業外損益	△ 1,394	△ 1,101	293	
経常利益	60	9,246	9,185	
特別損益	△ 221	292	513	
税引前利益	△ 160	9,538	9,699	
純利益	△ 1,322	5,752	7,075	
為替換算 レート	USD	105.87 円	111.38 円	5.51円
(期中平均)	EUR	122.30 円	130.85 円	8.55円

FY2021 Q3累計事業別実績

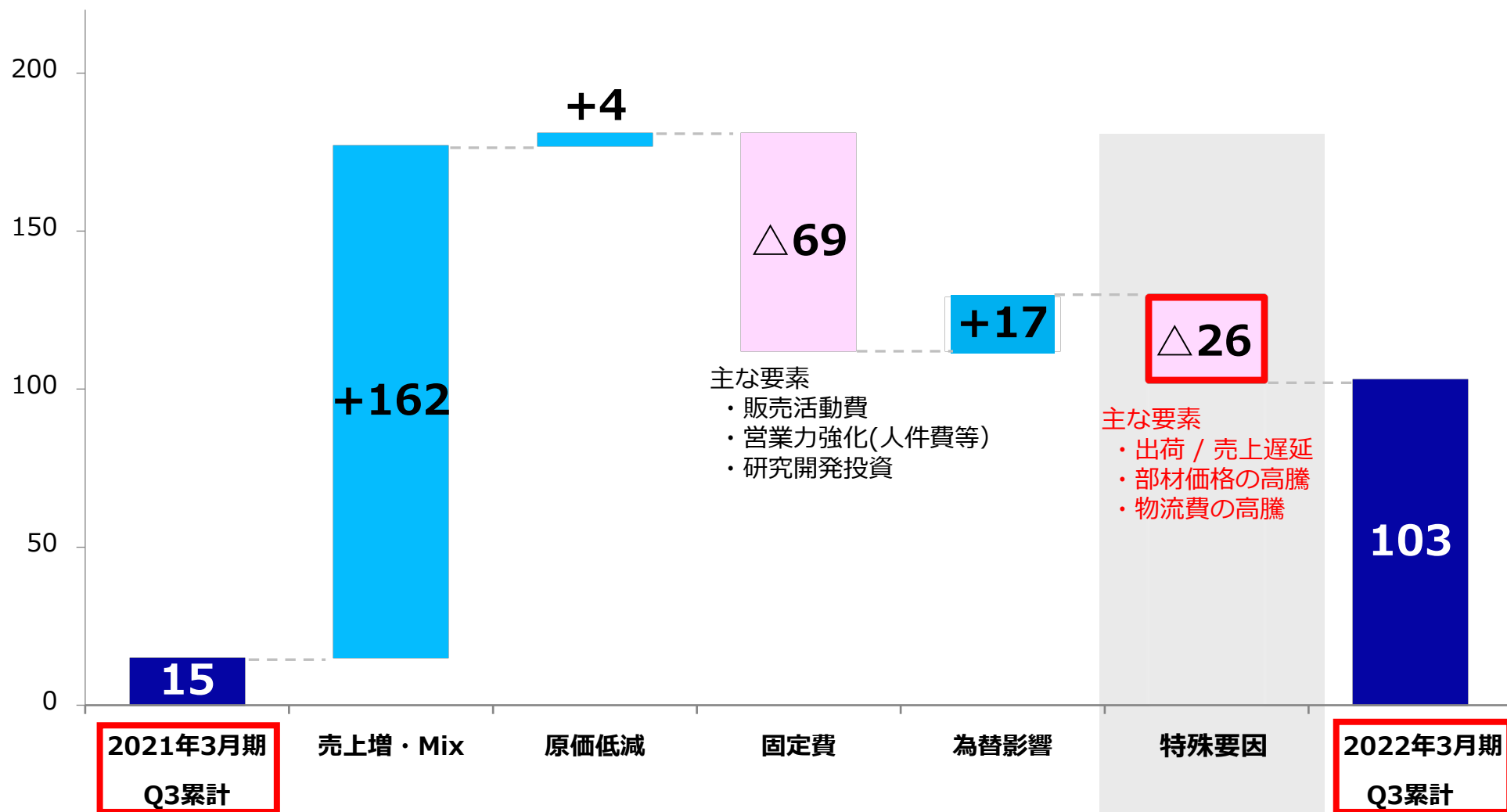
■ 全事業で大幅増収増益

(単位：百万円)

		Q3累計			
		FY2020	FY2021	前年同期比	前年同期比%
売上高	ポジショニング	49,061	67,812	18,751	+38%
	スマートインフラ	23,804	28,027	4,223	+18%
	アイケア	28,976	41,360	12,383	+43%
	その他	838	867	28	
	消去	△ 9,688	△ 13,233	△ 3,545	
	合計	92,991	124,834	31,842	+34%
営業利益 (営業利益率)	ポジショニング	3,087 (6.3%)	7,248 (10.7%)	4,161	+135%
	スマートインフラ	2,944 (12.4%)	4,405 (15.7%)	1,461	+50%
	アイケア	△ 1,211 (△4.2%)	1,983 (4.8%)	3,194	黒字化
	その他	△ 340	△ 264	76	
	調整	△ 3,024	△ 3,025	△ 1	
	合計	1,455 (1.6%)	10,347 (8.3%)	8,891	+611%

FY2021 Q3累計増減益分析（営業利益ベース:前年同期比）

（単位：億円）



I . 2022年3月期第3四半期 決算報告

I-1. 2022年3月期第3四半期 決算報告

I-2. 事業別の状況

■ 売上・利益 過去最高

(単位：百万円)

	Q3累計			
	FY2020	FY2021	前年同期比	%
売上高	49,061	67,812	18,751	+38%
営業利益 (営業利益率)	3,087 (6.3%)	7,248 (10.7%)	4,161	+135%
為替換算レート USD	105.87円	111.38円	5.51円	
(期中平均) EUR	122.30円	130.85円	8.55円	

業績要因分析

全般

- 欧米の活発な住宅・インフラ投資を追い風に大幅増収増益
- 部材・物流費の高騰や部材不足の影響が拡大

ICT自動化施工・IT農業

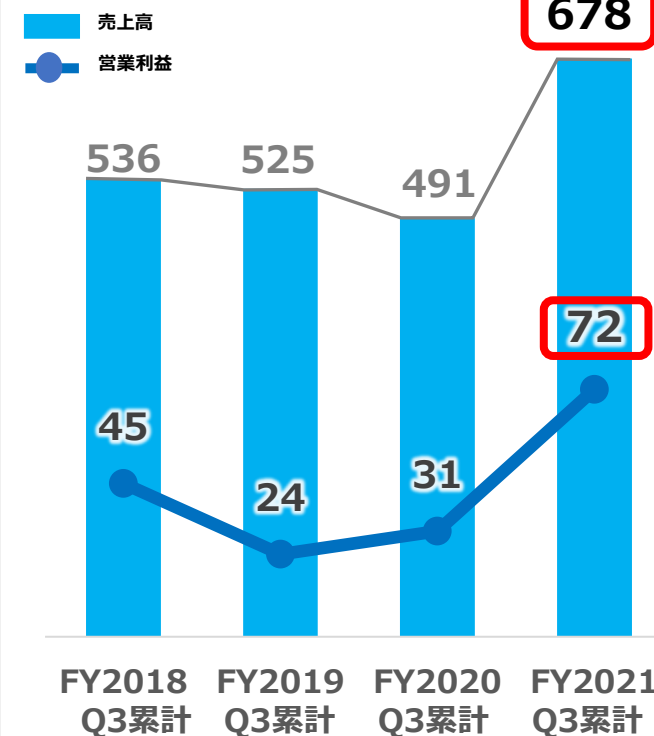
- アフターマーケット・OEM共に販売好調継続

測量・レーザー

- 住宅市況の好調継続で販売堅調

売上高・損益推移

(単位：億円)



■ 売上・利益 過去最高

(単位：百万円)

	Q3累計			
	FY2020	FY2021	前年同期比	%
売上高	23,804	28,027	4,223	+18%
営業利益 (営業利益率)	2,944 (12.4%)	4,405 (15.7%)	1,461	+50%
為替換算レート USD	105.87円	111.38円	5.51円	
(期中平均) EUR	122.30円	130.85円	8.55円	

業績要因分析

全般

- 国内向け販売堅調、欧米向け販売大幅伸長
- 部材価格の高騰や部材不足の影響が拡大

測量機

- 販売好調も部材不足で受注残の適正化が進まず

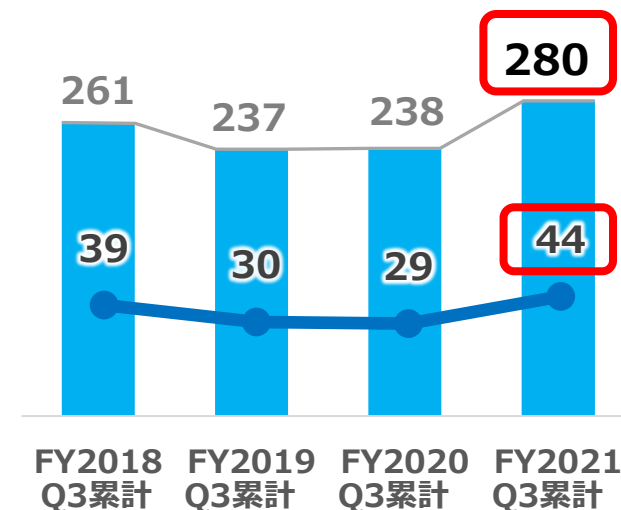
ICT自動化施工・IT農業

- 仕入れ遅延の影響が顕在化、売上への影響拡大

売上高・損益推移

(単位：億円)

■ 売上高
● 営業利益



■ 売上 過去最高、黒字化

(単位：百万円)

	Q3累計			
	FY2020	FY2021	前年同期比	%
売上高	28,976	41,360	12,383	+43%
営業利益 (営業利益率)	△ 1,211 (△4.2%)	1,983 (4.8%)	3,194	黒字化
為替換算レート USD	105.87円	111.38円	5.51円	
(期中平均) EUR	122.30円	130.85円	8.55円	

業績要因分析

全般

- コロナ禍でも主要マーケット中心に需要堅調
- 部材・物流費高騰の影響が顕在化

スクリーニング

- 欧・米・中各地で販売好調
 - ・Maestro :英国の複数チェーン店から大型受注
 - ・TRC-NW400 :中国の病院/検診センター向けに引き続き好調

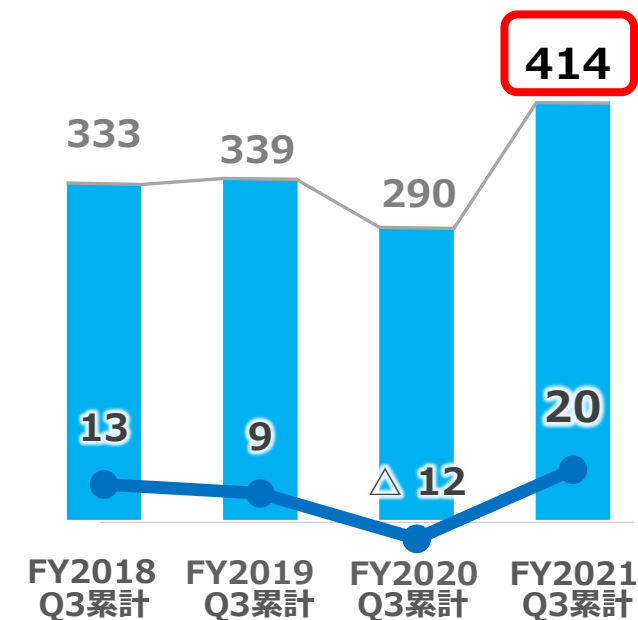
リモート検眼

- 欧米の大手チェーン店向け販売が過去最高ペースで好調を継続

売上高・損益推移

(単位：億円)

売上高
営業利益



Ⅱ. 2022年3月期 通期見通し

Ⅱ-1. 2022年3月期 通期見通し

Ⅱ-2. 事業別トピックス

■ 上方修正

Q4事業環境の見通し

<プラス要因>

- 欧米中心に好調な住宅・インフラ需要を背景に測量機やICT自動化施工の需要拡大が継続
- 高値圏で推移する穀物価格や労働力不足を背景にIT農業の需要も拡大傾向
- 欧米眼科・眼鏡店市場は堅調な設備投資が継続

<マイナス要因>

- 部材不足による出荷・売上遅延影響の拡大
- 部材・物流コスト高騰による影響拡大

Q3累計実績及びQ4の事業環境を鑑み、以下の通り業績見直しを見直す

新公表値

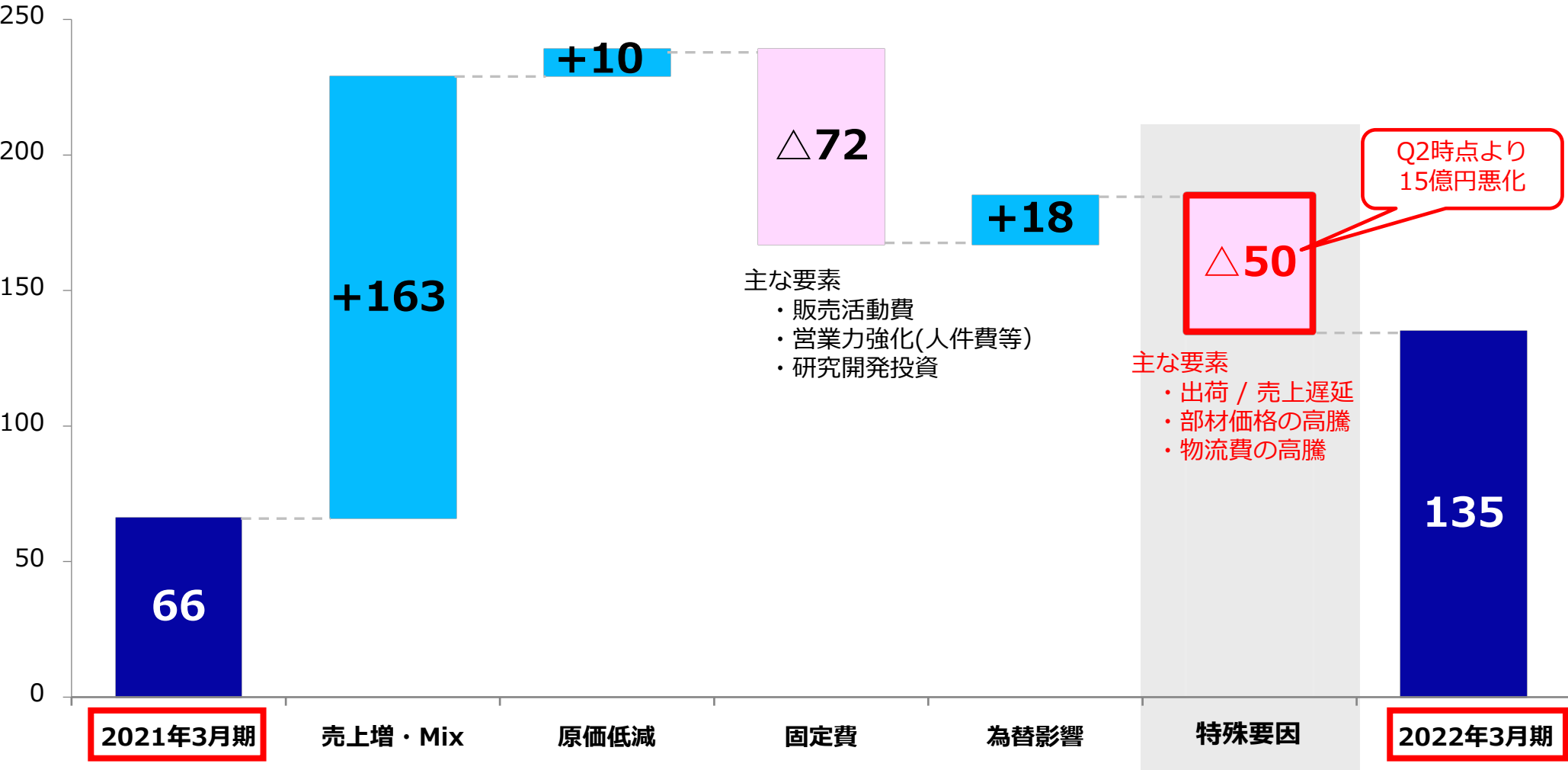
Q4為替前提：\$=108円/€=128円は変更なし

	旧公表値 (2021/10/29)	新公表値 (2022/1/28)	前年度 (FY2020)	前年度比
売上高	1,600億円	1,650億円	1,372億円	+20%
営業利益	125億円	135億円	66億円	+105%
経常利益	105億円	115億円	56億円	+106%
純利益	65億円	70億円	24億円	+195%
配当	20円	20円	10円	

FY2021 増減益分析（営業利益ベース:前年度比）

■ 部材不足・物流逼迫による影響拡大も上方修正

(単位：億円)



FY2021 通期見通し

■ 前年度比 売上**1.2倍**、営業利益**2倍**、純利益**約3倍**

(単位：百万円)

	FY2020	FY2021	
	通期 実績	通期 見通し	前年度比 % 2021年 10月29日 公表値
売上高	137,247	165,000	+20% 160,000
営業利益	6,593	13,500	+105% 12,500
(営業利益率)	(4.8%)	(8.2%)	(7.8%)
経常利益	5,587	11,500	+106% 10,500
純利益	2,376	7,000	+195% 6,500
R O E	3.6%	10%	9%
配当	10円	20円	20円
為替換算レート	U S D	106.17円	(下期前提) 108円
(期中平均)	E U R	123.73円	(下期前提) 128円

FY2021 通期見通し（事業別）

（単位：百万円）

		FY2020	FY2021		
		通期 実績	通期 見通し	前年度比 %	2021年 10月29日 公表値
売上高	ポジショニング	71,416	91,000	+27%	88,000
	スマートインフラ	33,982	37,000	+9%	37,000
	アイケア	44,251	54,000	+22%	52,000
	その他	1,165	1,000		1,000
	消去	△ 13,568	△ 18,000		△ 18,000
	合計	137,247	165,000	+20%	160,000
営業利益 (営業利益率)	ポジショニング	6,064 (8.5%)	10,500 (11.5%)	+73%	9,500 (10.8%)
	スマートインフラ	4,972 (14.6%)	5,000 (13.5%)	+1%	5,000 (13.5%)
	アイケア	122 (0.3%)	2,500 (4.6%)	+1,949%	2,500 (4.8%)
	その他	△ 536	△ 300		△ 300
	調整	△ 4,028	△ 4,200		△ 4,200
	合計	6,593 (4.8%)	13,500 (8.2%)	+105%	12,500 (7.8%)

Ⅱ. 2022年3月期 通期見通し

Ⅱ-1. 2022年3月期 通期見通し

Ⅱ-2. 事業別トピックス

■ 2年ぶりに米国大型建設展へ出展、米国建設市場の勢いを確信

米国建設展「World of Concrete」



[会場の模様 動画URL]
<https://www.topcon.co.jp/invest/popup/WOC2022.html>

開催地：米国ラスベガス
日程：2022年1月18日～20日
例年6万人規模の来場者数を記録

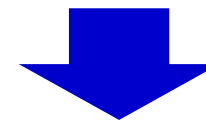


会場の様子



当社ブース

コロナ前水準を上回る
引き合い獲得



米国建設市場の
活況さを再認識

新製品発表

中小型建機向け ガイダンスシステム

- ✓ 対応機種の裾野拡大
- ✓ 日本市場の成功事例を横展開



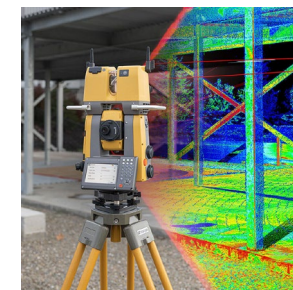
コンパクトトラックローダー



小型ショベル

スキャナー搭載 トータルステーション

- ✓ 1台2役で測量・3D計測
効率化を実現
- ✓ 作業工程を飛躍的に短縮



■ 建築DX本格始動、新製品投入でプロモーション加速

建築向け新製品リリース

建築専用 高精度位置出し機

- ✓ 2人から1人に！
建築に必須の
墨出し作業を**省人化**

楽位置
ラク イ ナ



建築向け製品
ラインアップ拡充



従来作業



2人でアナログ作業

NEW

楽位置
ラク イ ナ

当社ソリューション



- ✓ デジタル測量機で**1人**で対応
- ✓ **時間短縮**
- ✓ **精度向上**

第6回「Japan Build 2021」

開催地：東京ビッグサイト
日程：2021年12月6日～8日
来場者数：3万人超



- ✓ 大型建築展示会へ初出展
- ✓ 住宅メーカー、ビル建設業等
新たなターゲット層へアプローチ
- ✓ 新製品効果で引き合い好調

■ 世界最大の眼科学会 2年ぶりの実地開催

米国眼科学会(AAO)



開催地：米国ニューオーリンズ
日程：2021年11月12日～15日



会場の様子



当社ブース

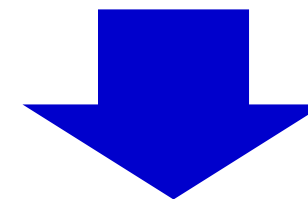


Maestro2展示と
デモの様様



Chronos展示と
デモの様様

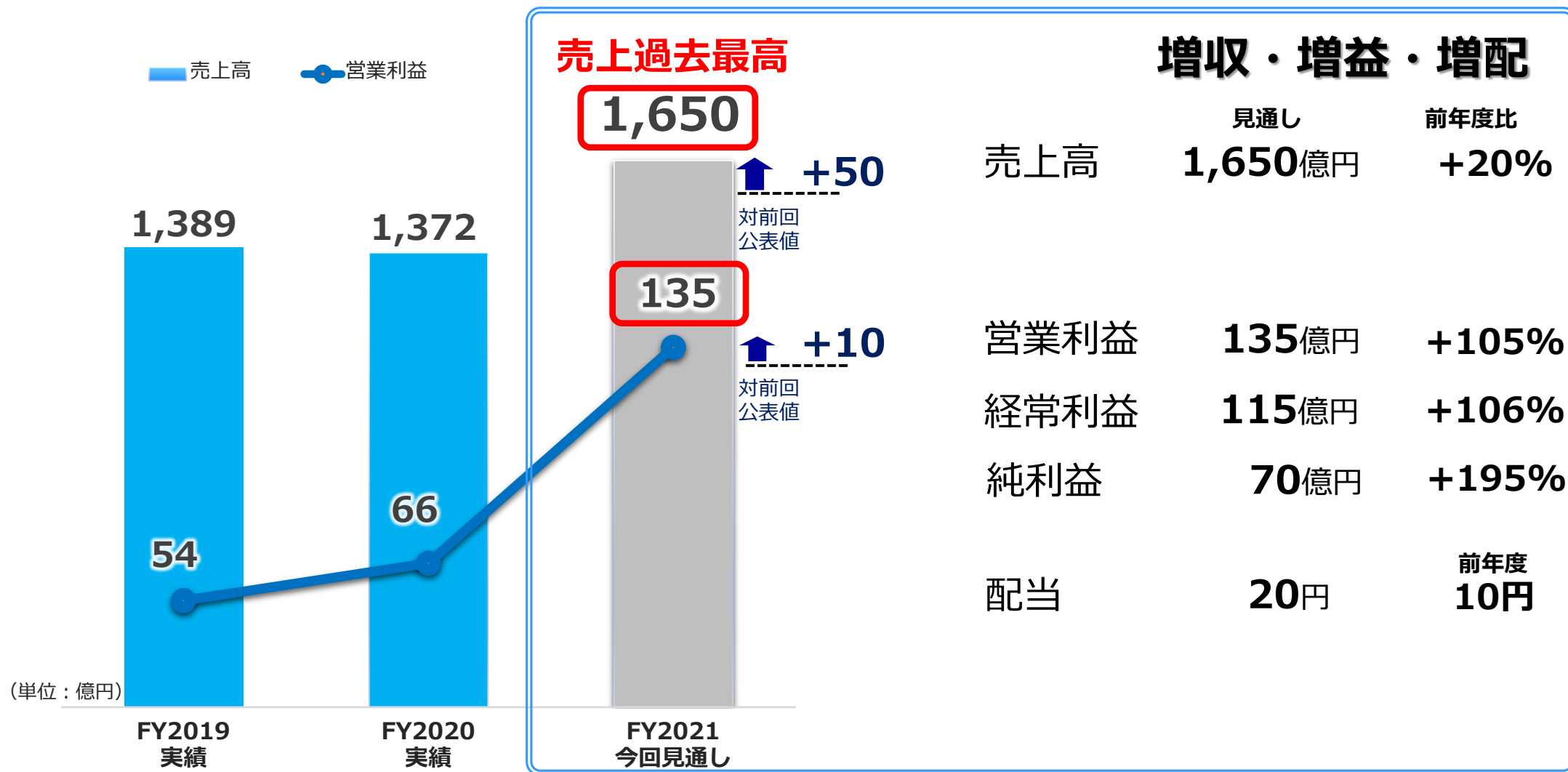
- ✓ 参加者数約1万2千人超
現地参加：8割
オンライン参加：2割
- ✓ 引き合い、受注が活発化



米国眼科市場の
活況を確認

Ⅲ. ま と め

■ 上方修正 前年度比 売上**1.2倍**、営業利益**2倍**、純利益**約3倍**



【TOPCON WAY】

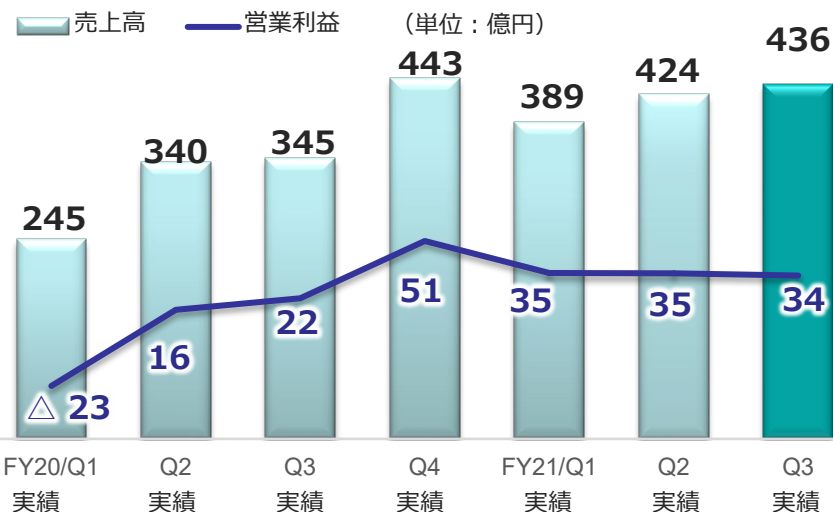
トプコンは「医・食・住」に関する社会的課題を解決し、豊かな社会づくりに貢献します。



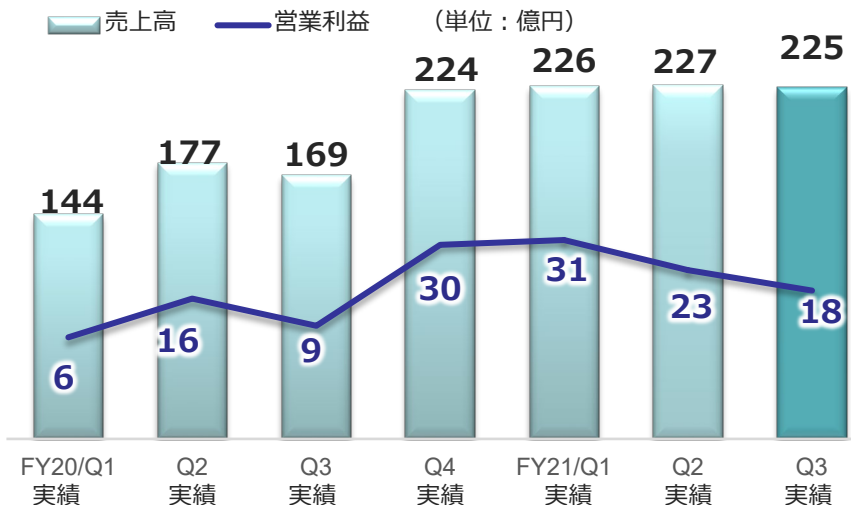
IV. 参考資料

四半期別業績推移

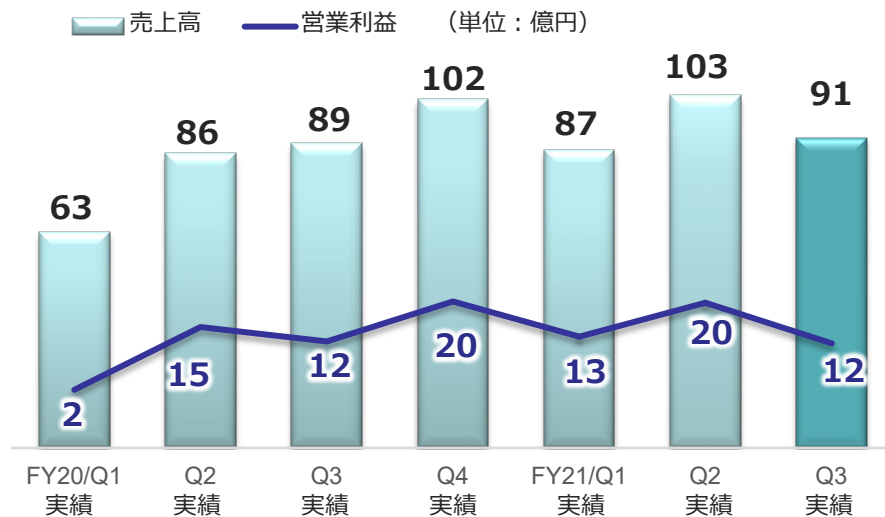
■ 全社



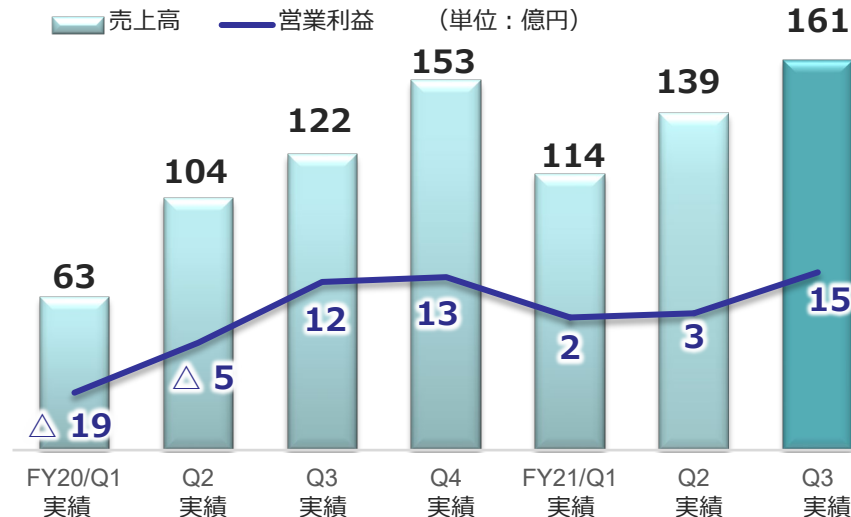
■ ポジショニング・カンパニー



■ スマートインフラ・ビジネス



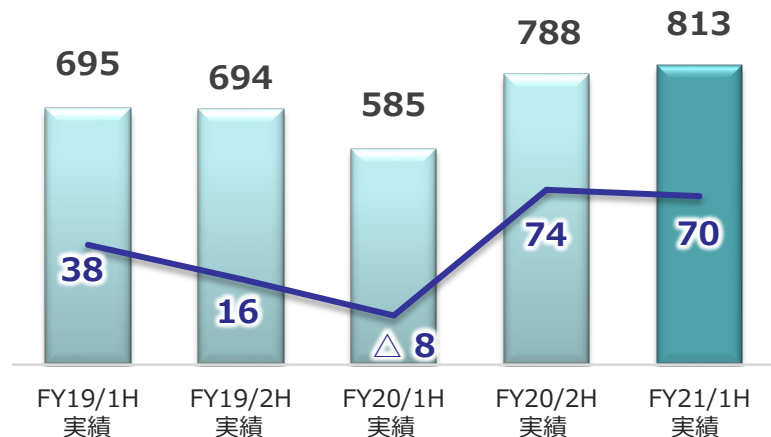
■ アイケア・ビジネス



半期別業績推移

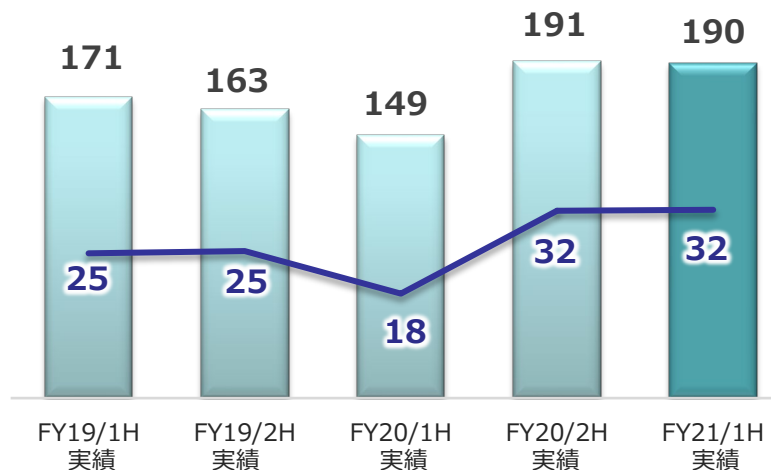
■ 全社

売上高 営業利益 (単位: 億円)



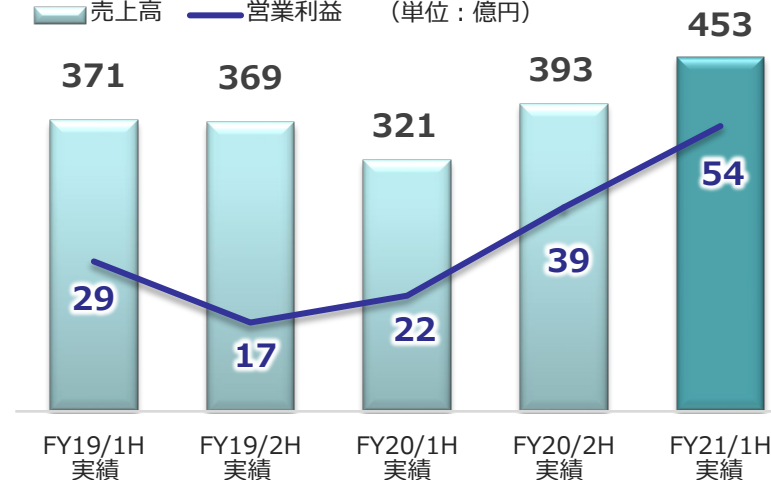
■ スマートインフラ・ビジネス

売上高 営業利益 (単位: 億円)



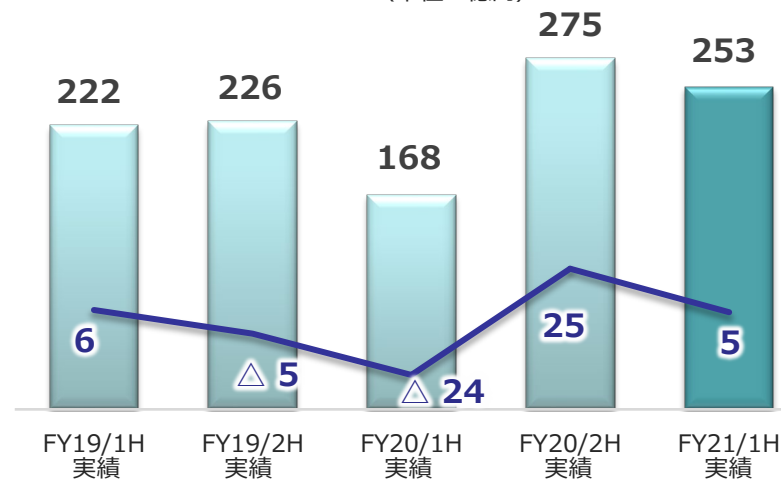
■ ポジショニング・カンパニー

売上高 営業利益 (単位: 億円)



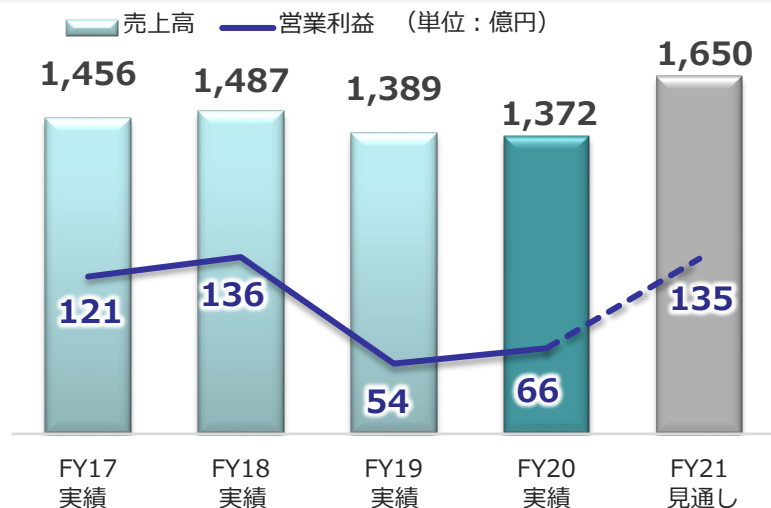
■ アイケア・ビジネス

売上高 営業利益 (単位: 億円)

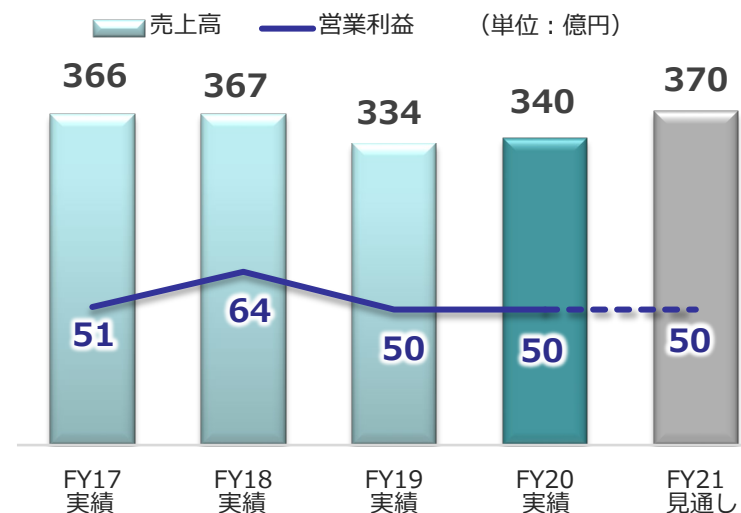


年度別業績推移・見通し

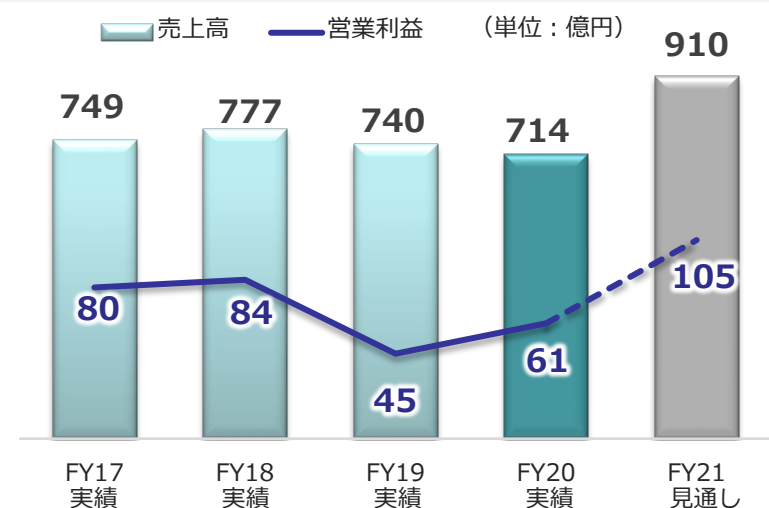
■ 全社



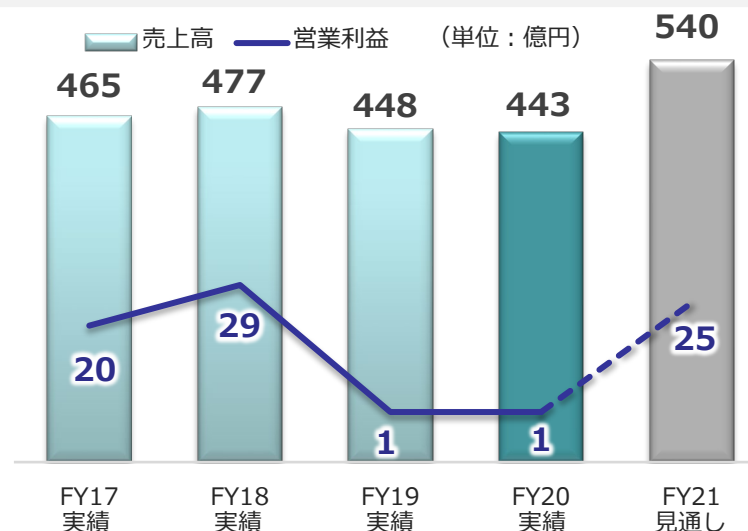
■ スマートインフラ・ビジネス



■ ポジショニング・カンパニー



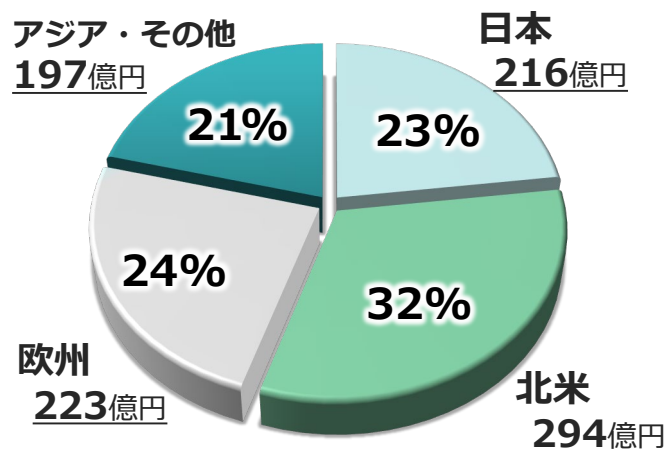
■ アイケア・ビジネス



地域別売上高

FY2020/Q3累計

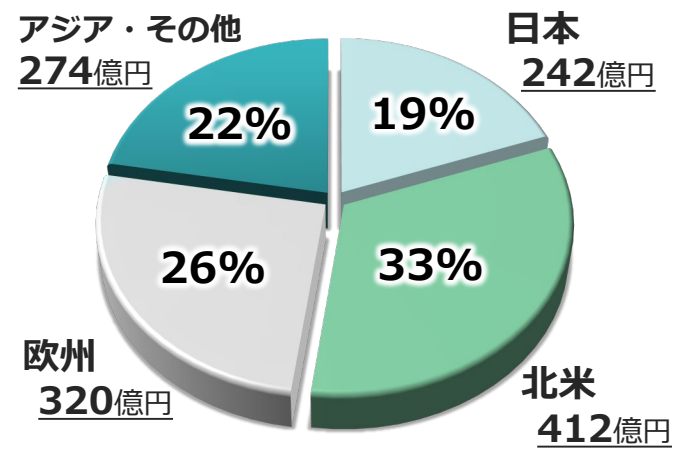
930億円



前年同期比
+34%

FY2021/Q3累計

1,248億円

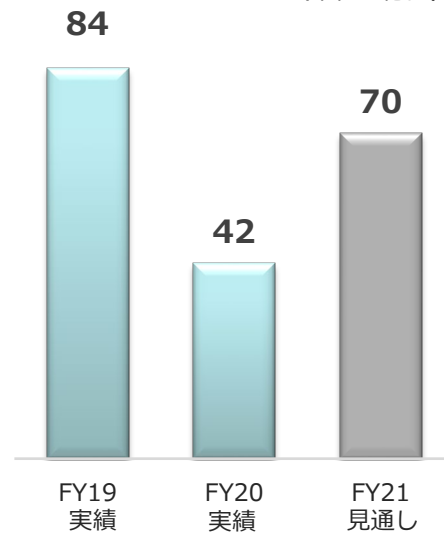


設備投資および研究開発費 / 為替感応度

■ 投資額・費用見通し

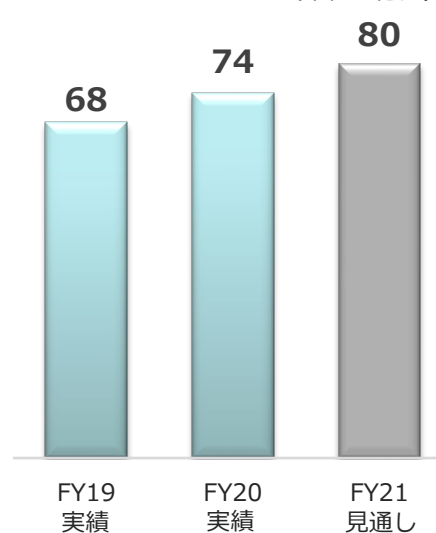
設備投資額

(単位：億円)



減価償却費*

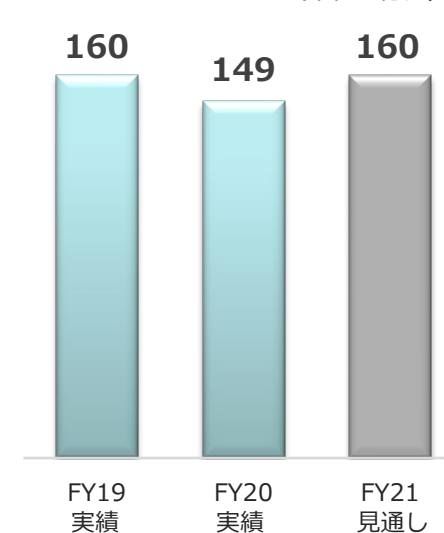
(単位：億円)



*のれん償却費を除く

研究開発費

(単位：億円)



■ 為替感応度（1円の変動による影響額）

USD：営業利益 1.5～2億円

EUR：営業利益 0.7～1億円

Topcon Report 2021（統合報告書）をご参照下さい

コンテンツ

- TOPCON WAY
- トップインタビュー
- 価値創造ストーリー
- 事業概要
- DX銘柄2年連続選定
- トプコンのESG
- 財務ハイライト

価値創造プロセス

トプコンの持つ「経営資源/強み」を活かし、経営理念「医・食・住」に関する社会的課題を解決し、豊かな社会づくりに貢献します。」の実現に努めています。また、ESGへの対応も重視し、持続可能な社会の実現に貢献して行きます。



89年の伝統あるベンチャー企業

～新市場創造の歴史と未来～

代表取締役社長CEO 平野 聡

- 成長の軌跡
- 今と未来
- イズムの承継とSDGs



製造業のレジェンドが見た トプコンの未来

社外取締役 稲葉 義治
(ファナック株式会社代表取締役会長)

- トプコンのガバナンス
- ファナックとの共通点



■ ホームページ : <https://www.topcon.co.jp/invest/library/integration/>

非財務情報について

■ コーポレートホームページ上の当社が取り組む社会課題、SDGs等を説明したサステナビリティページ



SDGsへの取組み：CO2排出量削減への貢献

建機・農機の自動化システムそのものが環境負荷低減に貢献



※1：出典-国土交通省i-Construction
推進コンソーシアム
「i-Constructionの進捗状況」(2019)
https://www.mlit.go.jp/tec/i-construction/pdf/03.5_kikaku_siryu_u6.pdf

※2：算定根拠
建機1台あたりの年間CO2排出量推定値に、ICT施工の活用による作業時間想定削減率を乗じた建機1台あたりのCO2排出削減量をもとに、ICT自動化施工機器の全世界での推定稼働台数と当社推定シェアを乗じて計算

**ベンダーニュートラルの強みにより
既存の各社建機・農機を後付けで自動化**

**自動化の普及拡大で
更なるCO2削減が期待**

※ i-Constructionは、国土交通省国土技術政策総合研究所の登録商標です。

©2022 Topcon Corporation

※3：出典-AEM 「The Environmental Benefits of Precision Agriculture in the United States」(2020)
<https://newsroom.aem.org/asset/977839/environmentalbenefitsofprecisionagriculture-2#.YBdQZR2Lc74.link>

※4：算定根拠
農業用トラクター1台あたりの年間CO2排出量推定値に、オートステアリングシステムの活用による燃料消費想定削減率を乗じた農機1台あたりのCO2排出削減量をもとに、オートステアリングシステムによる自動操舵トラクターの全世界での推定稼働台数と当社推定シェアを乗じて計算

当資料取扱上のご注意

本資料に記載の業績見通し、並びに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき、見通しのもとになる前提、予想を含んだ内容を記載しております。
実際の業績は、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向により、本資料の業績見通しとは異なる場合がございますので、ご承知おき頂きたくお願い致します。

お問い合わせ先

株式会社トプコン 広報・IR室

TEL : 03-3558-2532

E-mail: investor_info@topcon.co.jp

URL : <https://www.topcon.co.jp>